

2023年度 法人共通 卒後3年目研修【集合&オンライン】

「職場内教育の基礎知識」

～後輩指導の基本的知識を学びましょう～

受講者の皆様が、後輩の仕事の結果だけを評価するのではなく、日々の努力や成長過程を認め、後輩の行動に至るまでの思考や感情、後輩が大切にしている価値観にも理解を示しながら指導ができるよう、これから一歩ずつ学びながら成長されることを、法人全体で応援します。

卒後3年目の職員が、職場内教育の重要性と後輩指導に携わる者としての役割を学び、後輩を育てる上での自身の課題を見出すことを目的に開催しました。

■開催日時：①10月12日（木）14：30～16：30 ②10月21日（土）10：00～12：00

■受講者数：146名

助産師1、看護師87、診療放射線技師1、臨床検査技師4、薬剤師3、理学療法士13、作業療法士16、社会福祉士8、介護福祉士2、救急救命士1、言語聴覚士3、保育士1、事務職6

研修内容



1. 後輩の「いい行動」を増やし、それを継続させるために
～「行動科学マネジメント」に基づいて～
2. 後輩の「答え」や「主体性」を引き出すために
～「コーチングスキル」の活用～
3. 後輩指導について学ぶ意義

講師のご紹介

医療法人協和会
川西市立総合医療センター
理学療法科 管理科長
尼岸 正行氏



受講者の感想（アンケートより）

- ・今自分が働いているのも、これまでの先輩方からの教育を受けることが出来たからと改めて気づかされた。
- ・信頼している先輩や憧れている先輩の指導を振り返りながら講義を聞いていると、行動科学マネジメントに基づいている部分が多くあることに気づいた。
- ・5W2Hを意識し、後輩が責められているように感じず考えることができるような質問を心がけていきたい。
- ・自分がされてきたことや何となくで後輩指導を行っていた部分があった。今回の学びを今後に役立てたい。
- ・傾聴や質問の方法を考えて、後輩の主体性、思考の拡大が図れるように活用していきたい。
- ・相手の立場になって理解しようとする心が後輩育成においても非常に重要であると改めて感じた。
- ・相手にさらに考えさせる突っ込んだ指導については初耳だったので、とても興味深かったです。
- ・できないことをやる気や能力の問題と決めつけず、どうすればできるか一緒に考えていける先輩になる。
- ・講師の後輩指導の意義に対する個人的な意見が自らの今後の後輩指導の参考になりました。

